

パソコン基礎も学べる 介護職員初任者養成科

訓練期間: 令和7年3月7日(金) ~ 令和7年6月6日(金) 《3か月》

訓練目標

介護事業所において訪問介護・施設介護の基本的な作業を行うことができる。
(介護職員に必要なパソコン基礎・文書作成スキル等も学べます。)

申込みまでに…

ハローワークで職業相談を必ず受けてください。
(ある程度、時間を要しますので、日程に余裕をもって来所してください。)

申込手順

- ① 写真(4 cm×3 cm)を持参の上、原則、住居所を管轄するハローワークで受講申込み手続きを行ってください。
- ② その後、下記「訓練実施施設」に受講申込書を持参し、受講申込み・選考日時予約を完了させてください。



受講者募集期間

令和7年1月14日(火) ~ 令和7年2月10日(月)

※訓練実施施設への受講申込み・選考日時予約もこの期間に完了してください。

選考について

- 選考日時…**令和7年2月17日(月)13:00~** 選考を開始します。
- 選考場所…株式会社ウインドー2F 会議室
- 選考方法…筆記試験・面接
- 持ち物…筆記用具

選考結果通知日

令和7年2月21日(金)に選考結果通知書を発送します。

定員

13名

※申込者が定員の半数に満たない場合、訓練を中止することがあります。(最少開催人数:6名)

訓練時間

9:00~16:30 (昼休憩50分)

休講日

原則として土・日・祝日

自己負担額

- ・**受講料: 無料**
- ・テキスト代: 5,500円(税込)
- ・企業実習先への交通費: 実費(実施日数5日)
- ※健康診断費: 実費(裏面参照)

施設見学会

随時開催 下記問い合わせ先へ連絡をお願いします。

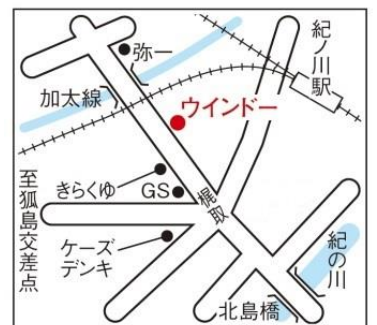
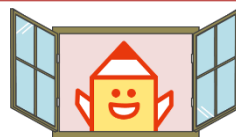
訓練実施機関・訓練実施施設

株式会社ウインドー

〒640-8411 和歌山市梶取171番地の1

問い合わせ先電話番号 **073-480-1231(担当:樋口)**

受付時間 8:30 ~ 17:00(土・日・祝日を除く) 無料駐車場有り(13台)



感染症防止対策(消毒液等の設置・こまめな換気・共用部分の定期的な消毒・間隔を空けた座席レイアウト等)に取り組んでいます。

※求職者支援訓練とは求職者の方などを対象に、民間教育機関が実施する「就職」を目的とした公的な職業訓練であり、このコースは厚生労働省の認定を受けています。
※受講者が一定の要件を満たす場合、「職業訓練受講給付金」の支給を受けることができます。
詳細はハローワークにお問い合わせください。

【厚生労働省:
求職者支援制度のご案内】

訓練カリキュラム

訓練科名	パソコン基礎も学べる介護職員初任者養成科			
訓練コース番号	5-06-30-002-05-0086			
訓練期間	令和7年3月7日(金)～令和7年6月6日(金) (3か月・訓練日数54日)			
訓練概要	訪問介護や施設介護における知識及び技能・技術とパソコンの基本スキルを習得する。 【職場見学等推進】			
訓練修了後に取得できる資格	介護職員初任者研修課程修了			
訓練内容	科 目	科目の内容	時間	
	学 科	安全衛生	介護における安全衛生、メンタルヘルス	4
		就職支援	履歴書・職務経歴書の作成、面接対策	18
		職務の理解	多様なサービスの理解、介護職の仕事内容や働く現場の理解	6
		介護における尊厳の保持・自立支援	人権と尊厳を支える介護、自立に向けた介護	9
		介護の基本	介護職の役割、専門性と多職種との連携、介護職の職業倫理、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護職の安全	6
		介護・福祉サービスの理解と医療との連携	介護保険制度、医療との連携とリハビリテーション、障害者自立支援制度およびその他制度	9
		介護におけるコミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション	6
		老化の理解	老化に伴うところとからだの変化と日常、高齢者と健康	6
		認知症の理解	認知症を取り巻く状況、医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理、認知症に伴うところとからだの変化と日常生活、家族への支援	6
		障害の理解	障害の基礎的理解、家族の心理・かかわり支援の理解、障害の医学的側面・生活障害・心理や行動の特徴・かかわり支援等の基礎的理解	6
		ところとからだのしくみと生活支援技術（基本知識）	介護の基本的な考え方、介護に関するところやからだのしくみの基礎的理解	12
		振り返り（知識）	振り返り、就業への備えと研修修了後における継続的な研修	4
	修了評価	筆記試験（介護職員初任者研修事業実施要綱に基づく全科目筆記試験）	4	
	実 技	ところとからだのしくみと生活支援技術（生活支援技術）	生活と家事、快適な住居環境整備と介護、整容・移動や移乗・食事・入浴や清潔保持・排泄・睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護、ターミナルケアの考え方、対応の仕方	60
		ところとからだのしくみと生活支援技術（生活支援技術演習）	介護過程の基礎的理解、総合生活支援技術演習、生活支援技術の復習	48
		振り返り（演習）	介護模擬演習（身だしなみ、言葉遣い、態度、介護）	2
		介護実務書類作成演習	パソコン基本操作、介護報告書・介護日報等作成	60
	そ の 他	職業人講話	「介護現場の現状」 株式会社松鶴	4
企業実習		生活支援技術実習（28H）、安全衛生（2H）	30	
合計時間 300 時間（学科 96 時間、実技 170 時間、その他 34 時間）				

※実技及び企業実習は、ジャージ（上下）・スニーカー等が必要です。

※企業実習にあたり、健康診断が必要になります。